

ひろば

令和4年9月22日発行

No. 5

2学期がスタート！

夏休みを終え、元気な子どもたちの声が帰ってきました。御南小学校の主役は、やはり子どもたちですね。全学年で力を合わせて、御南小学校のレベルアップをしてほしいと思います。最近、朝晩は少し気温が下がって秋の気配を感じるようになってきましたが、まだまだしばらくは暑い日が続きそうです。できる感染症対策と同時に、水分補給をしっかりとしたり、休憩を入れたりして、熱中症にならないように気をつけてほしいと呼びかけています。

さて、夏休みはいかがでしたか？全国的に感染者数が増えていたので、コロナウイルスに気をつけて過ごす夏休みになったと思います。さらに、熱中症に気をつけなければならぬくらい暑い日が続いて、大変だったと思います。そんな中でも、「運動で体を鍛え」「勉強をして頭を鍛え」「素敵な心も鍛え」計画的に夏休みを過ごせた子どもたちの様子が、始業式の日元気な顔からうかがえ、たくましさというか成長を感じたところです。今は、夏休みモードから学校モードにすっかり切り替わり、どの学年も先生やお友達のお話をしっかり聞いている子どもたちがたくさん見られるので、「さすが！」とうれしい気持ちになります。この2学期はたくさんの大きな行事が予定されています。どんなことも、ただただするのではなくて、自分の目標や目的意識を高くもって取り組むと、力が付くし伸びます。できる最大限の努力をして、最大限の力を発揮して、カッコいい御南の子どもたちであってほしいと応援しています。

ところで、先日の全校朝会で、子どもたちに、「スポーツ選手の中から頑張っている人」を以下の内容でお話ししましたので紹介します。

そのスポーツ選手の名前は「佐藤友祈選手」です。佐藤選手は「車いす陸上の選手」です。静岡県藤枝市出身の32歳ですが、今は岡山市にお住まいです。東京パラリンピックでは陸上男子400mと1500mで金メダルを獲得し、日本勢初の2冠を達成しました。とてつもない快挙です。佐藤選手は21歳のときに脊髄の病気で胸から下がまひして両足が動かなくなりました。左手も思うように動かなくなって、車いすでの生活になりました。その後は、しばらくはとつても落ち込んでいて、家にいる生活を続けていました。しかし、2012年のロンドンパラリンピックで「車いす陸上」を見たのをきっかけに自分自身が競技を始めました。「なめらかなフォームから効率よく腕の力を車いすに伝える力強く伸びのある走り」を長所にして、世界選手権では400mは3連覇、1500mは2連覇していて、この2種目の世界記録ももっています。パラ陸上のエースとして臨んだ東京パラリンピックでは、「陸上男子400m決勝」で、ラスト100mの直線で力強いスパートをし、ゴール直前で大逆転しました。55秒39のパラリンピック新記録で金メダルを獲得しました。そして、2日後の「1500m決勝」でもパラリンピック記録を更新しての金メダル獲得でした。自分が目標としていた2種目で金メダルを獲得したのです。東京パラリンピックはコロナ禍の影響もあって1年間伸びた上に開催が危ぶまれたわけですが、佐藤選手はいつも前を向きました。「どんなに困難な状況であっても、修正を加えながら歩みを止めないで、決めた目標に向かって突き進んで来た。」「～になりたいな、～をしたいなと希望と目標を持ち続けると、人間の可能性は無限大」という佐藤選手のコメントに、気持ちの強さが表れていました。佐藤選手の心は次のパリ大会に向けられています。

始業式の時に、「今できることをしっかり頑張って行こうね」と言いましたが、「～のようにになりたいな、～ができるようになりたいな」というような「希望や目標」をもってがんばっていきましょうね！

今学期も最高学年の6年生のみなさんをリーダーに、みんなで力を合わせて、実りの秋、実りの2学期にしましょう。今月もよろしくお願いします。

校長 菅野 純郎

2学期スタート！

2学期がスタートして4週間が過ぎました。今年度は8月29日（月）に、2学期の始業式を行いました。日中はまだまだ残暑が厳しいですが、朝晩は秋の気配を感じるようになり、中庭では秋の虫たちが涼やかな虫の音を響かせています。子どもたちは、1学期に引き続き、感染症予防を行いながら、日々の学習にがんばっています。

コロナ禍以前では、2学期は、多くの行事が予定されていましたが、今現在も若年層にも感染拡大が見られる状況を踏まえ、児童の健康と安全を第一に考え、活動内容の縮小や変更を考えながら進めています。しかし、一つ一つの活動を大切に、子どもたちにとって、楽しい思い出となることを願っています。

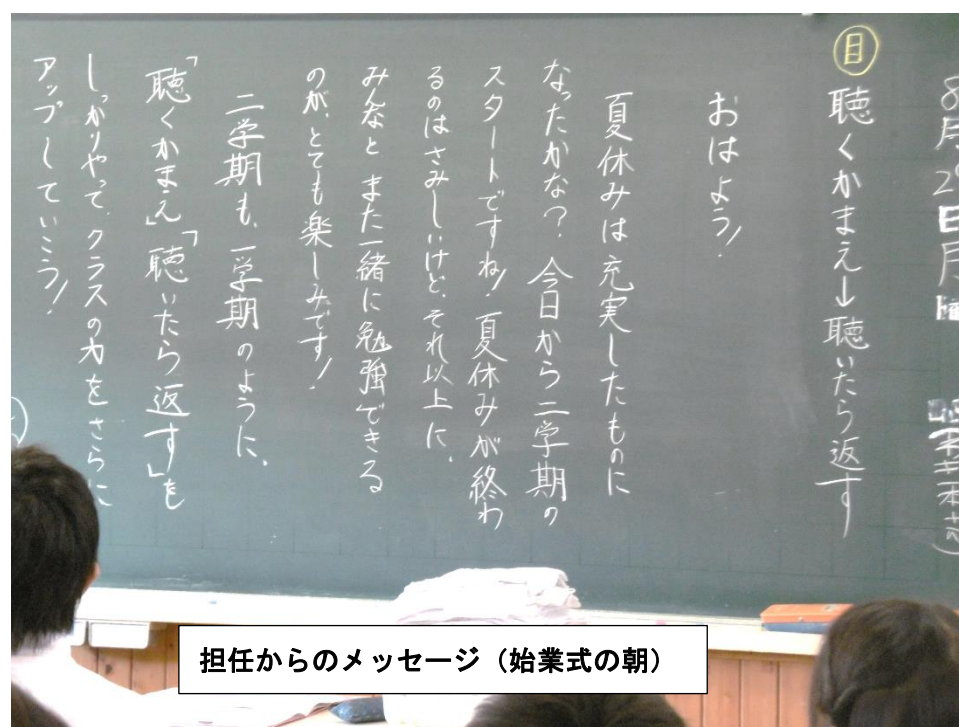
始業式の校長先生の話に、甲子園で行われた高校野球のことが取り上げられました。今年は宮城県代表の仙台育英高校が優勝し、優勝旗が初めて白河の関を越えました。「この優勝は一朝一夕で達成したものではなく、日頃の努力の積み重ねが成果をあげたのでしょう。御南小学校のみなさんも自分の目標に向かって頑張りましょう。」という話でした。



始業式での校長先生の話



始業式の登校の様子



担任からのメッセージ（始業式の朝）

夏休みは充実したものになったかな？今日から二期のスタートですね！夏休みが終わるのはさみしいけど、それ以上にみんなとまた一緒に勉強できるのがとても楽しみです。

二学期も一学期のように、「聴くかまえ」「聴いたら返す」をしっかりやって、クラスの力をさらにアップしていこう！

給食ニュース

児童に配布しました！

災害がおこった時の給食を体験しよう

自然災害は遠い地域の出来事ではありません。

平成7年1月17日 阪神淡路大震災、平成23年3月11日 東日本大震災、平成28年4月14日 熊本地震、平成30年7月西日本豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震、そして今年7月には熊本県を中心とした九州南部で豪雨災害が起きました。

私たちの地域でも地震、大雨、台風などから様々な災害が起こることが考えられます。

非常食を体験しておくことで災害時でも安心して食べることができます。

また、避難訓練等で学習したことを思い出し自然災害への理解を深めましょう。



非常食用カレーライス “救給カレー(きゅうきゅうカレー)”

～ライフラインが途絶えた中で救援物資が届くまでの非常食を想定して開発されました～

平成23年3月11日の東日本大震災では建物の損壊、電気、ガス、水道などライフラインの停止により、給食の提供が不可能になりました。とくに震災直後は、道路の寸断により救援物資が届かず食料不足となりました。

そこで、電気、ガス、水道が途絶えた中でも食べることができる、非常食が作られました。

- ①特定アレルギー27品目を使用していない。
- ②加熱をしなくてもそのまま食べることができる。
- ③子どもの健康成長を考えた栄養面に配慮している。

実際に災害がおきた地域にも届られています。



救給カレーの特徴

- ・袋の底が広がっているのて、立てることができます。
- ・子どもでも封をまっすぐあけることができるよう加工してあります。封をあける練習もしてみましょう。

9月6日(火)予定献立

こめこパン
救給カレー
牛乳

ミックスフルーツ(長期保存物資の活用を想定)

袋の底を広げて、上手にたてて食べましょう。開けた切り口で、口や手を切らないように注意しましょう。ゴミは小さくまとめましょう。



クリーンアップ大作戦 8/20(土)

夏休みも終わりに近づいた8月20日(土)、早朝から、教職員と保護者の方とで協力して、御南小学校の環境整備を行いました。130名もの保護者の方の参加者があり、あっという間に学校がきれいになりました。

運動場の側溝の泥をすくい上げたり、学級園の草を取ったり、昇降口の掃除をしたりしました。普段、子どもたちや教職員だけではできない所を整備することができました。皆様のご協力のおかげで、子どもたちは、気持ちよく2学期を迎えることができました。心より感謝申し上げます。



青田刈り 8/22(月)

しめ飾り作りに向けて

夏休み中の8月22日(月)、早朝から、御南学区社会福祉協議会、民生委員、教職員で、5年生のお飾り作り用の稲刈りをしました。まだ穂が出ていない青い稲がしめ飾りには適しているそうです。

刈り取った稲は、地域の方々にお世話になり、乾かして保管しています。

例年通りにいけば、12月には5年生が、すばらしいしめ飾りを作ることができそうです。



登録用 QRコード

↑空メールを送ってください。

USAGI メール登録のお願い

緊急時(学校行事の中止や変更、学級閉鎖や解除、災害時、その他の急を要する連絡等)、場合によっては、USAGI メールでお伝えすることがあります。まだ登録されていない保護者の方は、この機会にぜひご登録をお願いします。

申込コード: 1528719